

科目名	伝承美（華道）	Subject	Traditional Art -Flower Arrangement
サブタイトル	伝統文化である華道の精神美と実技、両面の習得		
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」
開講年次	開講時期	必修／選択	DP1 知識・技能 DP2 主体的行動力 DP3 課題解決能力 DP4 多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力 DP5 日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力 DP6 美しく生きる力を実践できる能力
2 年	後期	必修	
授業形態	単位	時間	
演習	1 単位	30 時間	
ゲストスピーカー招聘回	なし		○ ◎
教員名	松崎 美穂	メールアドレス	miho.matsuzaki@ . . .
教員の略歴	1990 年 武蔵野音楽大学 音楽教育学部 声楽専攻 卒業 1994 年 花芸安達流 教授会員取得 2003 年～日本橋三越カルチャーサロン講師 2014 年～山野美容芸術短期大学非常勤講師 2017 年～山野美容専門学校非常勤講師		
実践的教育	長期に渡る華道の教授経験をもとに、実践で役に立つ華道や植物の知識、技術を身につけられる授業内容としている		
オフィスアワー	授業の前後 30 分に直接声をかけてください。		

科目の概要								
日本の伝統文化は、自然中心であり、モラルとしてのその芸術意識は、世界に類例のない芸道精神を土台としています。人間と自然に於ける正しい共存の在り方を日本の伝統美〔華道〕という造形芸術を通し理解します。構成図や構成表を用いて論理的に展開していく授業の中で、理論に基づいた実技を学ぶことにより、日本独自の造形美や華道の中に息づく精神美を習得します。								
授業方法								
対面	オンライン	ハイブリッド	ディスカッション	プレゼンテーション	作品制作			
○	-	-	あり	-	あり			
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）								
ディプロマポリシー	授業の目標							
DP5	伝統文化・華道の精神美や具体的に花芸作品を制作する技術を身に付けることで、学生それぞれの美意識を高めることができる							
DP1	学生は華道の歴史、技術更には植物学を学ぶことで幅広い世代とのコミュニケーションに役立つと共に実際に作品を制作できる							
DP4	華道を学ぶ中、その長い歴史を繋げてゆく意識を持つことで学生は現実の生活とは異なった精神美を理解し伝えることができる							
教科書・教材								
教科書	演習ノート「水」 著者 安達瞳子							
参考文献	花芸安達流著書全書							
各自準備教材	色鉛筆（赤、青、緑、黄、茶） ティッシュペーパー 筆記用具							
評価方法								
筆記試験	実技試験	受講態度	小テスト	レポート	プレゼンテーション	作品	課題	その他
40%	-	30%	-	-	-	30%	-	
なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。								
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法								
個別に実地指導を行います								
履修上の条件・注意								
植物アレルギーなどがある生徒は、事前に報告すること ※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合がある。								
本科目履修と関連する資格								
花芸安達流 「水」の終了証								

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間（分）
第 1 回	オリエンテーション・花寄せ	華道の授業に臨む心構えや進め方を理解し、グループに分かれての作品制作により華道の世界を実感することができる。	配布のプリントの復習 持ち帰り花材による再制作	60 分
第 2 回	花芸作品を制作するにあたってのプロセスの大切さを学ぶ	作品を完成させるためのプロセスの大切さを実際に制作することで理解し実践することができる。	演習ノート P6, P31 の復習 持ち帰り花材による再制作	60 分
第 3 回	季節の行事に合わせその歴史的背景や文化を学ぶ	日本古来の文化や風習を歴史的背景と共に学ぶことで、華道の流れを理解し説明することができる。	配布のプリントの復習 持ち帰り花材による再制作	60 分
第 4 回	花芸作品を演習するために必須な構成図について学ぶ	構成図（正面図と平面図）の必要性と具体的な見方を理解し実践することができる。	演習ノート P7, 配布のプリントの復習 持ち帰り花材による再制作	60 分
第 5 回	素材（花材）の自然な姿を尊重した作品を生けることを学ぶ	人と自然との共生を理解した上で、花材の特性を理解し実践することができる。	演習ノート P8, 配布のプリントの復習 持ち帰り花材による再制作	60 分
第 6 回	花芸作品の美的なバランス感覚を学ぶ	日本と西洋の造形上の美的バランスの違いを理解し実践することができる。	演習ノート P9, 配布のプリントの復習 持ち帰り花材による再制作	60 分
第 7 回	花芸安達流の構成三原則である〈五態〉について学ぶ	植物独自の生態や形態による〈五態〉の違いを理解し説明することができる。	演習ノート P10, 配布のプリントの復習 持ち帰り花材による再制作	60 分
第 8 回	花芸安達流の構成三原則である〈文法〉について学ぶ ～part1～	花芸作品を演習するにあたり、花材に役を定めることを理解し説明することができる。	演習ノート P11、配布のプリントの復習 持ち帰り花材による再制作	60 分
第 9 回	花道史、並びに花鉋について学ぶ	花道史を日本の歴史的背景と併せて理解し説明することができる。	演習ノート P21, 配布のプリントの復習 持ち帰り花材による再制作	60 分
第 1 0 回	植物の生態について学ぶ	植物の生理現象である〈水揚げ〉の仕組みなどを学び植物の管理方法を理解し実践することができる。	演習ノート P22、配布のプリントの復習 持ち帰り花材による再制作	60 分
第 1 1 回	花芸安達流の構成三原則である〈文法〉について学ぶ ～part2～	〈文法〉で学んだ主要三格の美的バランスを理解し説明することができる。	演習ノート P23、配布のプリントの復習 持ち帰り花材による再制作	60 分
第 1 2 回	素材（花材）と花器のバランスを学ぶ	前回学んだ素材（花材）間のバランスに加え、花器と作品のバランスも理解し実践することができる。	演習ノート P24、配布のプリントの復習 持ち帰り花材による再制作	60 分
第 1 3 回	花芸安達流の構成三原則である〈原型〉について学ぶ	〈原型〉を理解することで理論的に花芸作品のバランスを理解できるようになり具体的に説明することができる。	演習ノート P25、配布のプリントの復習 持ち帰り花材による再制作	60 分
第 1 4 回	グループに分かれ〈連花〉を演習する	共同作業をすることで他者を受け入れ理解しその効果を実感し、コミュニケーション能力の大切さを説明することができる。	配布のプリントの復習 持ち帰り花材による再制作	60 分
第 1 5 回	授業の総復習と花束制作	華道の授業で会得した理論的な演習法、美的バランス、自然や社会との共生のあり方などを理解し述べるができる。	配布のプリントの復習 持ち帰り花材による再制作	60 分